

芸術系

教科等担当教員等

全国研修会



令和元年にスタートした「芸術系教科等担当教員等全国研修会」は、今年で8回目の開催を迎えました。本年度は参集での開催を中心に、9月～10月・12月の全2回を、研修会ウィーク形式でオンライン開催を織り交ぜて開催いたします。新しい学習指導要領に基づいた理論及び実技等を合わせた実践形式の研修プログラムにより、指導方法や評価方法等の工夫改善について考える、充実した学びの機会に是非ご参加ください。

全国研修会は、学習指導要領の趣旨を踏まえた理論研修・実践研修を実施し、指導方法や評価方法等の工夫改善等につなげ、初等中等教育の芸術系教科等における指導の充実に資することを目的とします。

開催期間

全国研修会は、全2回開催いたします

第1回

2026.9.28(月)～10.2(金)

第2回

2026.12.7(月)～12.11(金)

小学校 音楽科／図画工作科

中学校 音楽科／美術科

高等学校 芸術科(音楽、美術、工芸、書道)

主催:文化庁

協力:全国芸術系大学コンソーシアム及び協力大学

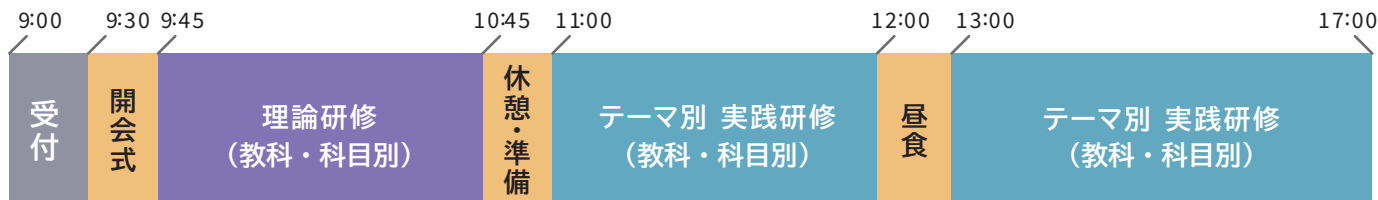


事業紹介動画



昨年度の実施内容

研修スケジュール／ご参加について



※一部オンライン配信においては、開始時間が変更となる場合があります。詳細については、開催前にご案内させていただきます。

教科・科目別※の「理論研修」

芸術系教科の意義、役割、新学習指導要領の趣旨を踏まえた今後の学習指導における課題や可能性、学習指導の在り方や学習評価等について、文化庁視学官・教科調査官が講義を行います。

※小学校音楽科、小学校図画工作科、中学校音楽科・高等学校芸術科音楽、中学校美術科・高等学校芸術科美術及び工芸、高等学校芸術科書道の5分学科会に分かれて実施します。

対象

- 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教員等であり芸術系教科等を担当している方又は予定している方(非常勤講師等を含む)
- 都道府県、指定都市教育委員会等の指導主事等

テーマ別 実践研修(教科・科目別)

芸術系大学の教員や広く活躍している芸術家等が講師を務め、学習指導要領の趣旨やねらいの実現を目指した授業を展開するための実践手法を中心に、芸術系大学等の特性を生かした実践的な内容を学びます。

受講要件

- 参集研修: 担当大学が指定する会場にて終日研修プログラムを受講できること
- オンライン研修: 受講生側にて受講に必要な機器、環境(受講場所等)を準備し、リモートで終日研修プログラムを受講できること

参加手続き等

参加手続き等の詳細については、教育委員会等を通じてご連絡いたします。

令和8年度 全国研修会の研修テーマ

第1回

分科会番号	校種・教科	大 学	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2	研 修 テー マ	定員 (名)	実施方法
小音1	小学校音楽科	東京音楽大学		●				授業の改善・充実のための音楽の学びなおし	30	オンライン
小音2	小学校音楽科	徳島文理大学			●			子どもの歌声づくり ～発声指導及び変声期への対応を中心に～	20	対面
小図1	小学校図画工作科	東京藝術大学		●				屏風の「かたち」を楽しむ ～平面から空間へ広がる日本絵画の構成美～	20	対面
小図2	小学校図画工作科	京都市立芸術大学				●		材料から発想する～土を焼成して器の製作～	20	対面
小図3	小学校図画工作科	東京造形大学					●	「見方を変える」を考えようー思考力、判断力、表現力等 (発想や構想)を育成する高学年の造形遊びー	20	対面
小図4	小学校図画工作科	東京造形大学					●	自然物とのかかわりから学びの深まりへと造形活動が育む 資質・能力のつながり	12	対面
小図5	小学校図画工作科	常葉大学					●	幼・少の連携についての理解と実践力の向上 ー探究という視点からー	10	対面
中高音1	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	愛知県立芸術大学		●				楽器概念の解体と「パーカッションの技法」の再発見 ー聴覚と触覚の再統合による“共鳴”の場から	50	対面
中高音2	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	京都市立芸術大学					●	ピアノ伴奏法の実践と考察 ーアンサンブル表現と演奏指導をめぐって	20	対面
中高美1	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	秋田公立美術大学	●					画材解剖学 ～描画材料の組成と定着の仕組みを紐解く～	15	対面
中高美2	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	東京造形大学					●	地域の魅力を引きだすテキスタイルデザイン	20	対面
中高美3	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	常葉大学					●	空間表現ー光と影の世界ー	15	対面
中美高工1	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	秋田公立美術大学	●					銅・真鍮による、技法・表現の可能性ー鍛金の皿制作を通してー	10	対面
中美高工2	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	金沢美術工芸大学	●					天然染料による染色ー先人の知恵と自然から学ぶ授業の展開ー	15	対面
中美高工3	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	東京藝術大学		●				草木から色をつくる ～原始的な染色技法を通して～	20	対面
中美高工4	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	常葉大学					●	アルミニウム鋳造生型法(焼失原型)	10	対面
高書1	高等学校芸術科(書道)	東京学芸大学					●	高等学校芸術科書道における「漢字の書」の創作指導の工夫 ー作品の構想と表現の工夫の視点ー	40	対面

第2回

分科会番号	校種・教科	大 学	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	研 修 テー マ	定員 (名)	実施方法
小音3	小学校音楽科	エリザベト音楽大学		●				複合メディアコンテンツと音楽づくり／ 歌唱・合唱指導のヒント／教科等横断的な学びのヒント	50	オンライン
小音4	小学校音楽科	東京藝術大学				●		打楽器の魅力 ～器楽と音楽づくりとの関連を図って～	30	対面
小音5	小学校音楽科	東京音楽大学					●	音や音楽によるコミュニケーションと音楽づくり	30	対面
小図6	小学校図画工作科	東京造形大学					●	「見方を変える」を考えようー思考力、判断力、表現力等 (発想や構想)を育成する高学年の造形遊びー	20	対面
小図7	小学校図画工作科	東京造形大学					●	自然物とのかかわりから学びの深まりへと 造形活動が育む 資質・能力のつながり	12	対面
中高音3	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	エリザベト音楽大学		●				授業展開と指導実践のヒントー音楽科教育と「よさや美しさ」、 創造性のある器楽合奏実践、ICTを活用した音楽づくり～	50	オンライン
中高音4	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	沖縄県立芸術大学		●				五感で楽しみ考える沖縄の伝統音楽 ～歌三線から探る沖縄の伝統音楽の魅力～	20	対面
中高音5	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	東京藝術大学			●			箏を用いた授業づくりー器楽から創作へ～	20	対面
中高音6	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	徳島文理大学			●			創造性を育む音楽科のICT実践論 ～デジタル技術を用いた表現・鑑賞の指導と評価～	10	対面
中高音7	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	東京音楽大学					●	諸民族の音楽の考え方・教え方～要点と実践ワークショップ	30	対面
中高美4	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	女子美術大学		●				美術館を活用した鑑賞教育	20	対面
中高美5	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	京都市立芸術大学				●		ものの見方ー京芸の日本画基礎教育を学ぶ～	30	対面
中高美6	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	武蔵野美術大学					●	コミュニケーションを生み出すデザインを考える	30	対面
高書2	高等学校芸術科(書道)	愛知教育大学			●			高等学校芸術科書道における「漢字の書」の創作指導の工夫 ー作品の構想と表現の工夫の視点ー	40	対面